

目標の 7.3 万トンの削減達成に向けた、7つの対策

地域内の豊富な再エネ電気を活用したかづのパワーによる供給を軸としながら、新規再エネの導入や省エネ設備への更新、率先したEV社会の実現などにより、脱炭素とともに経済成長も促す取り組みを積極的に進めます。



画: 笑がき屋たなみー

できることから、始めましょう!



取り組みごとのCO₂削減目標

- 1 4.62 万トン
- 2 0.63 万トン
- 3 1.19 万トン
- 4 0.20 万トン
- 5 0.66 万トン
- 6 森林吸収量 14.8 万トンを維持
- 7 目標値なし

産業活力課 ゼロカーボン推進室 ☎ 30-0249

地域の特長を活かし みんなで脱炭素

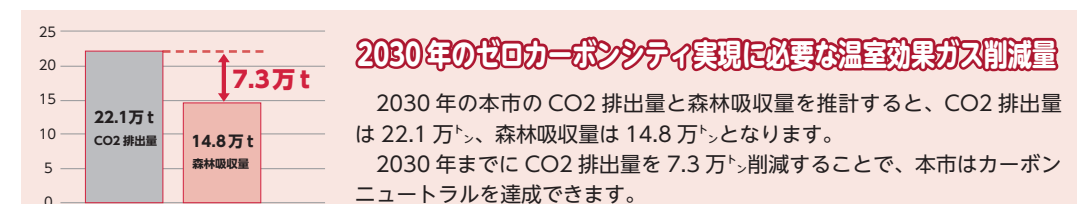
近年、地球温暖化の影響とされる気候変動リスクがさまざまなところで表れており、今後さらに高まる予測されています。

本市では、電力自給率が300%を超えるほど再生可能エネルギーが豊富なことや、市面積の約8割が森林であることなどを踏まえ、昨年3月に2030ゼロカーボンシティ宣言を行いました。

そして、この度、2030年のカーボンニュートラルや脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策を強力に推進していくため、「鹿角市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

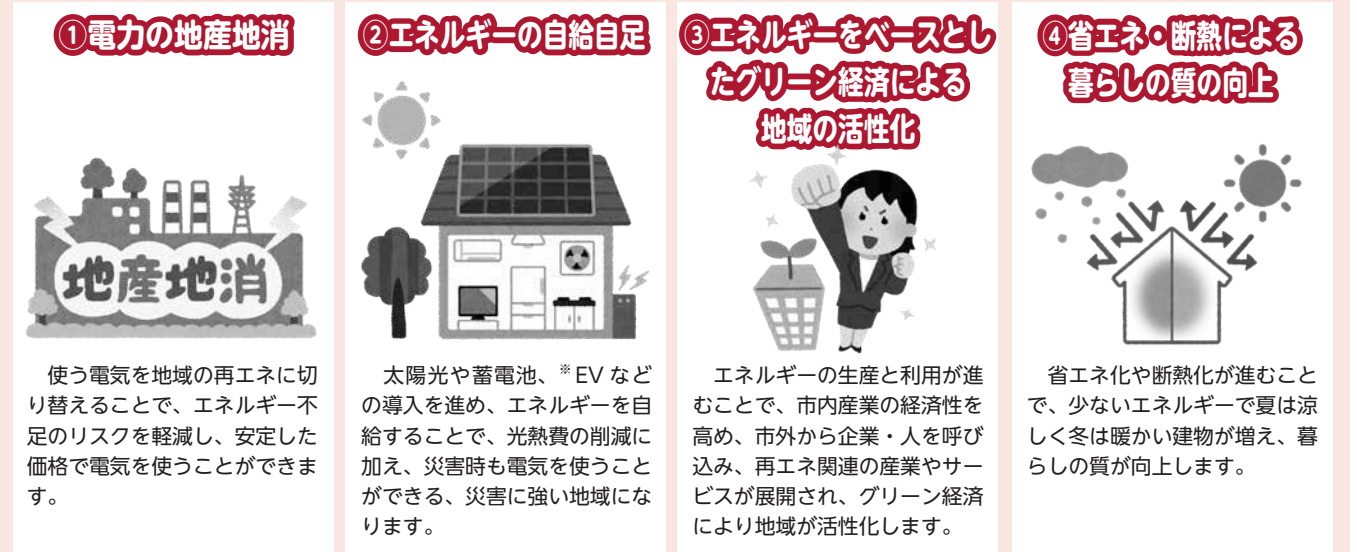
脱炭素を推進することで、光熱費の削減・安定化、防災力の強化、暮らしやすさの向上のほか、これらを実現する脱炭素投資を呼び込むことによる経済成長に加え、率先してCO₂削減に取り組む市のブランドアップも図られます。

2030年のカーボンニュートラル達成に向け、市一丸となって温暖化対策に取り組んでいきましょう。



2030年までに目指す地域脱炭素の姿

地域の安定したエネルギーと、地域エネルギーを活用するインフラを整え、グリーン経済が活性化し、暮らしやすく将来性のあるまちを作り、仕事と人を呼び込みます。



※ EV: 電気自動車

皆さんのご協力をお願いいたします

再エネ電気メニューへの切り替えをご検討ください

効果が高く、取り組みやすいのが「再エネ電気メニューへの切り替え」です。

近年、「再エネ電気」を供給する料金メニューを設定している電気小売会社が増えており、そうしたメニューに切り替えることで、電気由来のCO₂排出量がゼロになります。

また、電気をかづのパワーに切り替えることで、地域の再エネ電気を使うことになり、電気由来のCO₂削減に加え、電力資金の域内循環が図られます。

かづのパワーでは、価格競争力のある高圧メニュー(事業者向け)をおすすめしています。

事業者の方は、ぜひ、今の電気契約を確認し、再エネ電気メニューへの切り替えをお願いします。